令和８年(2026 年)11 月

R8(2026)年度　全国学力・学習状況調査結果を説明する資料

札幌市立栄北小学校
校長　田尾　寿之

５月に、６年生を対象とした全国学力・学習状況調査が行われ、札幌市教育委員会から、「札幌市の調査結果の概要」が公表されました。本校で対象になりました６年生の保護者の皆様には、既に個人票を配付しております。

本調査は、学力の特定の一部を測定したものであり、学校の教育活動の一側面であると考えています。今回の調査結果をもとに、児童の傾向を把握し、その他調査の結果と合わせて今後の指導に生かしていきたいと考えています。

結果の概要と改善に向けて

＜児童質問用紙から＞

肯定的な回答の多い設問

・学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どのくらいあなたと話しますか。
・学校での悩みについて、あなたの親や家族は、週に１～２回以上話をする。
・自分にはよいところがあると思いますか。
・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
・インターネットを使って情報を使って収集することができると思う。
・自分が PC ・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーションを作成することができると思う。
・国語の勉強は得意ですか
・国語の学習は好きですか。
・国語の授業はよく分かりますか。
・英語の勉強は好きですか。

否定的な回答の多い設問

・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。
・わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできますか。
・一日当たりどれくらいの時間、勉強（塾や家庭教師、インターネットと活用した学習の時間を含む）をしますか（１時間以上）
・学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
・５年生までに受けた授業では、国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか。
・算数の授業の内容はよくわかりますか。
・５年生までに受けた授業では、算数の問題の解き方がわからないときには、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか。
・５年生までに受けた授業では、算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたたか。
・５年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役立つと思いましたか。
・今回の国語の問題では、回答を文章で書く問題で最後まで回答を書こうと努力した。
・今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題で最後まで回答を書こうと努力した。

国語や算数の学習を好きな子が多くいます。家庭内では、良好なコミュニケーションにより家族との結びつきが強く、地域や社会の一員として、よくするために何かしてみたいと思う前向きな気持ちをもっていることが分かります。

一方で、学習したことを整理して次の学習や生活の場面で生かそうと考えたり、自分で課題を立て解決に受けて取り組んだりする活動を得意としている子が少ないことが分かります。理解度の自覚を促したり、学習内容を整理したりすることができるように、授業の最後や内容の区切りとなるタイミングで学習の振り返りを行うことを進めていきます。

これからも、子どもが安心して学校に通い、充実した学校生活を送ることができるように保護者や地域の皆様にご協力をいただきながら教育活動に取り組んでいきます。

＜教科に関する調査＞

国　　語

結果の概要	本校の課題	改善に向けて
「言葉の特徴や使い方に関する事項」 全国平均を下回っている。	→比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 →漢字を文の中で正しく使うこと。	⇒実際に話したり書いたりする中で触れてきた比喩や倒置といった表現の工夫について、まとめて整理する学習を通して定着を図る。
「情報の扱い方に関する事項」 全校平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	→情報同士の関係付けの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使うこと。	⇒目的や意図を明確にし、複数の記述や語句の関係について図などを用いて整理することを通して、考えをまとめる活動の充実を図る。
「話すこと・聞くこと」 全国平均を下回っている。	→相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように構成を考えること。 →資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	⇒具体的な相手や目的を設定し、自分が伝えたいことをまとめ、その理由や根拠を挙げながら筋道を立てた構成を考える活動の充実を図る。
「書くこと」 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	→引用たり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	⇒引用する目的を明確にして正確に引用したり、引用部分と自分の考えとを区別したりしながら書き表す活動の充実を図る。
「読むこと」 全国平均を下回っている。	→文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 →目的に応じて、必要な情報を見付けること。	⇒読む目的を明確にして、必要な情報について見当をもち、複数の情報を取捨選択する活動の充実を図る。

算　　数

結果の概要	本校の課題	改善に向けて
数と計算 全国平均を下回っている。	→数を四捨五入して、概数で表すことができる。 →整数と小数の減法の計算をすることができる。 →異分母の分数の大小を判断し、理由を数や言葉を用いて記述できる。	⇒小数や分数の意味を理解し、整数と同じ原理で計算できることを理解することができるようにする活動の充実を図る。
図　　形 全国平均を下回っている。	→立方体の体積の計算による求め方について理解している。	⇒図形を構成する要素に着目し、体積が縦、横、高さを使って求められることを理解できるようにする活動の充実を図る。
測　　定 全国平均を下回っている。	→示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができる。	⇒示された情報から、全体と部分の関係を読み取って、条件に合う数量を求めることができるような活動の充実を図る。
変化と関係 全国平均を下回っている。	→百分率で表された割合と数量から、基準量を求めることができる。 →基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができる。	⇒示された情報から、図などを用いて「もとなる量」、「比べる量」、「割合」の関係を捉えることができるようにする活動の充実を図る。
データの活用 全国平均を下回っている。	→示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中と数と言葉を用いて記述できる →二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。 →帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ることができる。	⇒資料を整理する際に、数値の妥当性について確認する活動の充実を図る。 ⇒示された問題の場面についてよく確認し、求められているものは何かを考える活動の充実を図る。